愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学　第4次中期計画

目標領域	戦略課題・施策	行動	目標	担当	部門	2026 (令和 8)年度	2027 (令和 9)年度	2028 (令和 10)年度	2029 (令和 11)年度	2030 (令和 12)年度
教学改革	①3ポリシーの点検・評価 ②教育方法の充実	①学修成果の可視化に基づき DP を点検・評価するとともに3Pの整合性を図り、具現・実現化する。 ②ノート PC の有効活用を推進する。	①DP に基づくカリキュラムの充実 ②卒業時の成果物の扱い（可視化、共有、保存の在り方等）	①教学マネジメント推進委員会 ②教務委員会	大学	①卒業論文または健康科学研究に向けたゼミ活動の始動準備と実施 ②ノート PC 活用の今後を見据えた評価	卒業論文または研究科学研究の評価と今後の改善に向けて	カリキュラムの評価及び改善 PDCA		
					短大	①卒業時成果物の取扱い（ルーブリック等による評価・共有・保存の在り方） ②ノート PC 活用の実態調査	入学前学習課題の見直し	カリキュラムの評価及び改善 PDCA		
研究力強化	①学園紀要構成の点検・評価 ②教員の研究力及び教育力の向上	①紀要の投稿内容を精査する。 ②教員の教育研究活動を推進する（科研費をはじめ外部資金獲得相当の研究力と卒業研究への指導力の強化）。	①学園紀要の充実 ②教員の学術雑誌への投稿の推進 学生の探究力向上体制の構築と評価の可視化	①瀬木学園紀要委員会 ②研究力強化委員会	大学・短大	①学園紀要投稿の実態調査（内容及び数） ②健康科学演習の実態調査（大学） ③各学科、専攻・コースにおける卒業制作実態調査（短大）	①調査結果の評価を検討 ②評価	卒業論文または健康科学研究への指導力の評価（大学） 卒業制作の評価		
就職支援	①就職支援体制の再生強化 ②各種アンケート結果の確実な反映	学内企画やアンケートの検討結果を改善に活かす。また、新企業の開拓と企業の求める人材像の把握により関係強化を図る。 企業アンケート、卒業生アンケート等実施するアンケートの集計と分析により表出した課題への改善策を検討し、実行する。	①就職率１００％ ②優良企業開拓を含め 100 社にする ③専門を活かした就職率 100% ④次年度へ確実にフィードバック	①就職委員会 ②キャリア支援室	大学・短大	①令和７年度内に実施していた学内企画及びアンケート全てを分析・評価し、運営委員会へ改善策を提案 ②企業開拓について、月間報告	①新企画の点検・評価 ②開拓企業との連携強化策を検討	「健康」を意識しての就職支援の充実		
キャリア教育	正課外教育の体系化	キャリア教育(基礎学力を含む)の充実を図る。	入学前教育と初年次教育の強化	キャリアセンター 教務委員会	大学・短大	・正課外教育体系の全体設計 ・入学前教育教材・オンライン整備 ・初年次キャリア教育（基礎学力を含む）の内容及び実施形態の決定（大学） ・PROG 入学時データ分析・評価	・基礎学力向上活動の実施 ・個別フィードバック（PROG）面談 100% ・チューターによるキャリア面談の完全実施	・正課外教育プログラムの改善(補習・進路指導連動) ・インターンシップ・社会連携授業との連動 ・PROG 改善目標 大学：リテラシー＋8pt／コンピテンシー＋10pt 短大：リテラシー＋6pt／コンピテンシー＋8pt	・正課外教育プログラムの運用定着 ・PROG データを授業・ゼミ指導に還元 ・キャリア形成ワークショップ・就職支援の拡充	・PROG の５年間データによる総括 ・入学前・初年次・正課外教育の効果測定 ・教育課程（正課・正課外）の最終見直し ・次期５か年計画への反映

目標領域	戦略課題・施策	行動	目標	担当	部門	2026 (令和8)年度	2027 (令和9)年度	2028 (令和10)年度	2029 (令和11)年度	2030 (令和12)年度
入学定員の確保	①個別入試の適正化 ②広報活動の有効化	①入試方法の内容及び比重等を検証し、改善に繋げる。 ②費用対効果を配慮しつつ広報活動の見直し、時代に即応した広報を実施する。	入学定員充足率100%以上	高大接続改革等委員会 入学試験委員会（大学） 入試広報委員会（短）	大学・短大	2027年度入試を実施しつつ、その結果を検証し、2028年度に向けた改善策を検討する。 ※	2028年度入試を実施しつつ、その結果を検証し、2029年度に向けた改善策を検討する。 ※	2029年度入試を実施しつつ、その結果を検証し、2030年度に向けた改善策を検討する。 ※	2030年度入試を実施しつつ、その結果を検証し、2031年度に向けた改善策を検討する。 ※	2031年度入試を実施しつつ、その結果を検証し、2032年度に向けた改善策を検討する。 ※
魅力ある学園づくり	卒業生と在校生の相互支援	同窓会に呼びかけ、卒業生が学び、参加しやすい企画と広報の見直し充実を図り、卒業生と在校生の相互支援としてのメンター制を構築する。	卒業生・在校生相互の学習広場・集いの場の確立 メンター制の確立	学生委員会（大） 学生厚生委員会（短）	大学・短大	卒業生と在学生の交流の場の定例化を図る。	卒業生と在学生の交流の場の充実を図る。（2027〜2028年度）		卒業生と在学生の共同企画を件というする。メンター制の準備	卒業生と在学生の共同企画を実施する。メンター制を組織化
産学官連携による学生のための実践教育	共同企画により学生の社会における実践力の向上	各企業とのPBL、名古屋市、また瑞穂区との連携協定に基づく各種企画への学生参加により実践教育を充実する。	大学：全てのコースにおいて実施 短大：学科専攻コースにおいて実施	窓口：キャリアセンター 実施：関係する学科、専攻、コース	大学・短大	各企業とのPBLをはじめ産学官の共同企画について開始以来の成果を報告。	2026年度以前の総括を評価し、新たな方向性の検討	新企画の実施案を作成する。	新企画の実行（2029〜2030年度）	
地域貢献・社会貢献	「健」に基づく活動により地域・社会への貢献	大学・短大合同企画やオープンアカデミーをはじめ各組織の特性を活かした独自の企画により地域・社会へ貢献活動を行う。	地域や企業との連携の拡大	コミュニティ委員会 公開講座委員会	大学・短大	オープンアカデミー企画の計画と実施（2026〜2030年度） 新企画の計画と実施（2026〜2030年度）				
高大連携	大学・短大保有教育資源の高校への提供	高大連携教育プログラム等の充実を図る。	瑞穂高校を中心に充実を図る	窓口：入試広報室 実施：関係する学科、専攻、コース	大学・短大	従来の企画の継続と併せて、瑞穂高校との連携強化する新企画を検討	従来の企画の継続実施と併せて新企画の実施（2027〜2030年度）			
大学院	大学大学院としての適正化	自己評価を実施する。	指導体制の充実 教育課程の見直し 「研究報告書」の明確化 内部進学の推奨	研究科委員会	大学・短大	研究指導の年間計画の可視化、「修士論文」の評価ルーブリックの作成	院生の研究へ教育課程の寄与の実態	「修士論文」と「研究報告書」の差異 「研究報告書」の評価ルーブリックの作成	研究指導体制の評価改善（2029〜2030年度）	

※ 個別入試の改善と広報活動を連動し、年度ごとにPDCAサイクルを回す。
入試方法の内容・比重の現状分析 → 入試方法改善案の検討 → 改善した入試方法の運用 →出願・合格者データの収集と分析→個別入試改善の継続的ブラッシュアップ

学校法人瀬木学園　第４次中期計画（2026-2030）　【瑞穂高等学校】

<table>
<tr><th>目標領域</th><th>戦略課題</th><th>目標・施策等</th><th>2025(令和7)年度</th><th>2026(令和8)年度</th><th>2027(令和9)年度</th><th>2028(令和10)年度</th><th>2029(令和11)年度</th><th>2030(令和12)年度</th><th>2031(令和13)年度</th></tr>
<tr><td>基本目標</td><td colspan="9">基本目標
教育理念：　健への志
社会の要請：　主体性、道徳性、社会性を備えた生徒の育成
教育目標：　知徳体の調和がとれ、未来をたくましく生き抜く気力あふれる人間の育成に努める
ア　自ら考え、自ら行動する人間
イ　広い視野に立ち、たゆみなく努力する人間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教育理念・教育目標の具現化</td><td>・教育理念「健への志」の意識づけ</td><td>・「健への志」の具体的な取組み</td><td colspan="7">・健康意識を醸成する取組み（教育理念の表示、健康チェックリスト作成等）
・学校行事で「健康」に関わる内容を盛り込む
・総合的な探究の時間の取組みテーマとして「健康」を含める
・ホームページやSNS等での発信</td></tr>
<tr><td>・教育目標に示された人間の育成</td><td>・あらゆる教育活動を通じて育成</td><td colspan="7">・学校行事や部活動への積極的な参加
・部活動等での小・中学生との交流
・ボランティア活動や地域行事への参加
・キャリア教育の充実
・外部講師による講演会の実施
など</td></tr>
<tr><td>探究的な学習の推進</td><td>・総合的な探究の時間の取組み
・すべての教科における探究的活動の推進</td><td>・総合的な探究の時間の充実
・生徒の主体性の育成</td><td colspan="7">・3年間を見据え、探究学習を身に付けさせる実施計画の作成（2028）
・すべての教員が探究的な学びを推進していくための研修会の実施
・生徒の主体的取組みの促進</td></tr>
<tr><td>学校の活性化</td><td>・魅力ある学校生活</td><td>・学校行事の充実
・生徒や保護者の意向を取り入れた学校運営の推進
・学校への誇りや愛着を高める取り組み
・部活動の一層の充実</td><td colspan="7">・生徒が主体的に学校行事を企画・運営する方向への転換
・生徒や保護者の意見を反映させた校則の見直し
※服装規定の改定
2026 防寒着・ソックス、携帯電話の取扱い、2027 ポロシャツ等の制服
・文化部の活発化</td></tr>
<tr><td>効果的な生徒募集活動</td><td>・生徒募集活動の点検・検討</td><td>・中学校からの情報収集
・渉外部と広報部の一体化による生徒募集活動の効率化
・広報の充実と強化</td><td colspan="7">・受験者数の減少に対応した募集活動の在り方を検討
・中学校との信頼関係の維持・向上
・体験入学、入試説明会の内容の充実
・中学校への説明や持参資料の最適化
・効率的な入試広報
・ホームページの充実
・広報のデジタル化の促進
（デジタルパンフレット、SNS、動画 等）</td></tr>
</table>

ICT教育	・ICT教育の推進	・ICT活用環境の維持・向上 ・ICT教育の充実	・進歩が著しい機器やWi-Fi環境の更新・整備を計画的に推進 ・教員のスキルアップのための研修会の実施
高大連携	・高大連携の推進	・高大連携プログラムの促進 ・高大連携範囲の拡張	・入試に関する説明、夏季集中授業、出前授業等の円滑な実施と充実 ・生活文化コースと愛知みずほ短期大学、教養コースと愛知みずほ大学との連携授業の促進 ・探究的な学びでの大学及び短期大学との交流 ・学校祭や地域行事への取組みの検討
学習指導要領改訂に向けた検討	・次期学習指導要領改訂への対応	・本校に適した教育課程の編成	・現行の教育課程の検証と課題の整理 ・次期学習指導要領改訂に向けた検討 （学科、コース、教育課程、総合的な探究の時間、主体的で対話的な深い学び 等）
キャリア教育と進路指導実績の向上	・キャリア教育の計画的実施 ・進学実績の向上	・教育活動全般におけるキャリア教育の推進 ・教員の学習指導・進路指導のスキルアップ ・学科・コースの特徴を活かした取組み	・自己理解と将来展望、教科の学びと社会とのつながり、ボランティア活動などを通じて主体的な進路選択に繋げる ・学科・コースごとの教員間の情報共有と協働による課題の解決 ・多様な大学入試に対応した指導法の工夫 ・各学年のコース担任間の情報共有 ・各コースの教育課程の特色を活かした進路指導と進路実績の向上
デジタル化の充実	・業務の効率化の向上 ・ICT環境の整備	・BLENDの活用範囲の拡大 ・デジタル採点システムの導入 ・ICT環境の継続的な維持管理	・（出張や年休処理等をはじめ）各分掌におけるBLENDの活用の推進を図り、利便性の拡大を図る ・採点業務の効率化を図る **（2026）** ・ICTを活用した授業や学校行事が円滑に行える環境の維持・向上
生徒・保護者が安心できる対応の充実	・教員のスキルアップと教員間の連携強化 ・カウンセリングの充実	・生徒把握・生徒理解と迅速な対応 ・適切な情報共有と情報発信 ・生徒面談や保護者対応スキルを高める研修の実施 ・学校における多様な危機に対応できる体制の充実 ・カウンセリングを必要とする生徒や保護者及び教員が適時に行える体制の整備 ・専門家との連携の検討	・生徒意識調査、心のアンケートの活用 ・養護教諭、担任関係教員の迅速な情報共有 ・保護者との連携 ・生徒や保護者が安心・安全な学校であることを実感できるよう、必要な情報発信を様々なツールで行う ・自然災害や突発的な事件・事故への対応など、学校管理下で起こりうることについての危機管理意識と体制の整備を継続的に推進 ・カウンセラーの在校日数・時間数を増やす ・カウンセリングルームの整備 ・家庭の問題や教員の対応が困難な場合に備えて、スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤーとの連携の検討

学校法人瀬木学園　第４次中期計画（2026-2030）　【学園】

目標領域	戦略課題・施策	行　動		2025(令和7)年度	2026(令和8)年度	2027(令和9)年度	2028(令和10)年度	2029(令和11)年度	2030(令和12)年度	2031(令和13)年度
情報戦略	情報環境の整備と教育への活用の推進	① 情報環境及びセキュリティ基盤の整備・高度化 ② 教育への活用の推進	情報環境整備	情報環境及びセキュリティ基盤の整備・高度化						
				ICT業務委託とICT支援員の活用						
			教育への活用	大学学生PC活用 短大学生PC活用 高校生徒iPad活用						
				教職員の情報スキルの向上（研修等） ポータルシステムを核とした教育情報の統合・活用（データ分析・可視化ソフトウェアの導入と操作スキルの向上支援等）						
財政基盤	財政基盤の確立と健全な財政運営	① 健全な財政運営と寄附活動の推進 ② 遊休資産の整理		（学生・生徒の安定的な確保を前提とした）健全な財政運営・寄附活動の効果的な推進						
					４号館取壊し準備　**4号館取壊し**（適切な時期に実施）					
					遊休資産の売却等検討　**瑞穂会館及び南側敷地の売却**（適切な時期に実施）					
環境整備	計画的な施設整備の推進	教育研究環境の充実及び老朽施設・設備の計画的な整備		**瀬木学園図書館リニューアルの検討・実施**						
					1号館空調機取替					
						瀬木学園体育館バリアフリー対策（バリアフリートイレの整備等）				
					1号館・本校舎耐震対策					
					3号館・5号館の活用見直し・**整備**					
				老朽施設修繕・改修計画の検討・実施						
人事政策	学園の運営に資する人材の育成及び業務の効率化と組織の最適化	① 中長期的視点に立った人材育成と教職員の計画的な採用 ② 学生・生徒、教職員に対するサービス向上を目指した事務業務の効率化と組織の最適化		・行動規範・育成方針の徹底 ・FD/SD研修の実施・自己啓発活動支 ・中・長期的人事計画の検討 ・教員・事務職員評価の実施						
				事務業務に係る新システムの導入						
					高度な専門性を要する業務の外部委託					
				事務職員の適正配置と業務の効率化の推進						
ブランド強化	学園の強みを活かしたブランド強化と情報公開	既存の特色を活かしたブランド強化		学園ＨＰ「地域貢献の広場」を通じた情報発信						
				「母子健康手帳」に関する教育及び広報						
				自校史教育の実施						
		ブランド強化の新たな取組みの検討		**各組織（学校）における取組の推進** ・「健康」を基軸にしたブランド強化（オープンアカデミーの開催、授業・講演会等の企画、研究の奨励等） ・学生の活動の奨励 など						